

2.9 環境問題に関する情報の量や質への満足度、取得方法

環境問題に関する情報への満足度を項目別に聞いたところ、「(まあ)満足している」「十分満足している」及び「まあ満足している」の合計)という割合が最も高かったのは、「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」の37.9%となった。次いで、「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」(27.9%)、「日常生活が環境に及ぼす影響」(26.0%)が多くなった。

項目別ではなく総合的な環境問題に関する情報への満足度をみると、「(まあ)満足している」割合は22.9%となり、前年度(33.6%)よりも満足度は低くなっている。

項目別についても時系列でみると、全ての項目で前年度よりも低い結果となった。特に「地域環境の情報」が最も大きく増加をした。年代別では20歳代と70歳代以上の「(まあ)満足している」が25%程度とやや高い割合となった。地域別では北海道・東北以外は20%よりも高い割合となった。

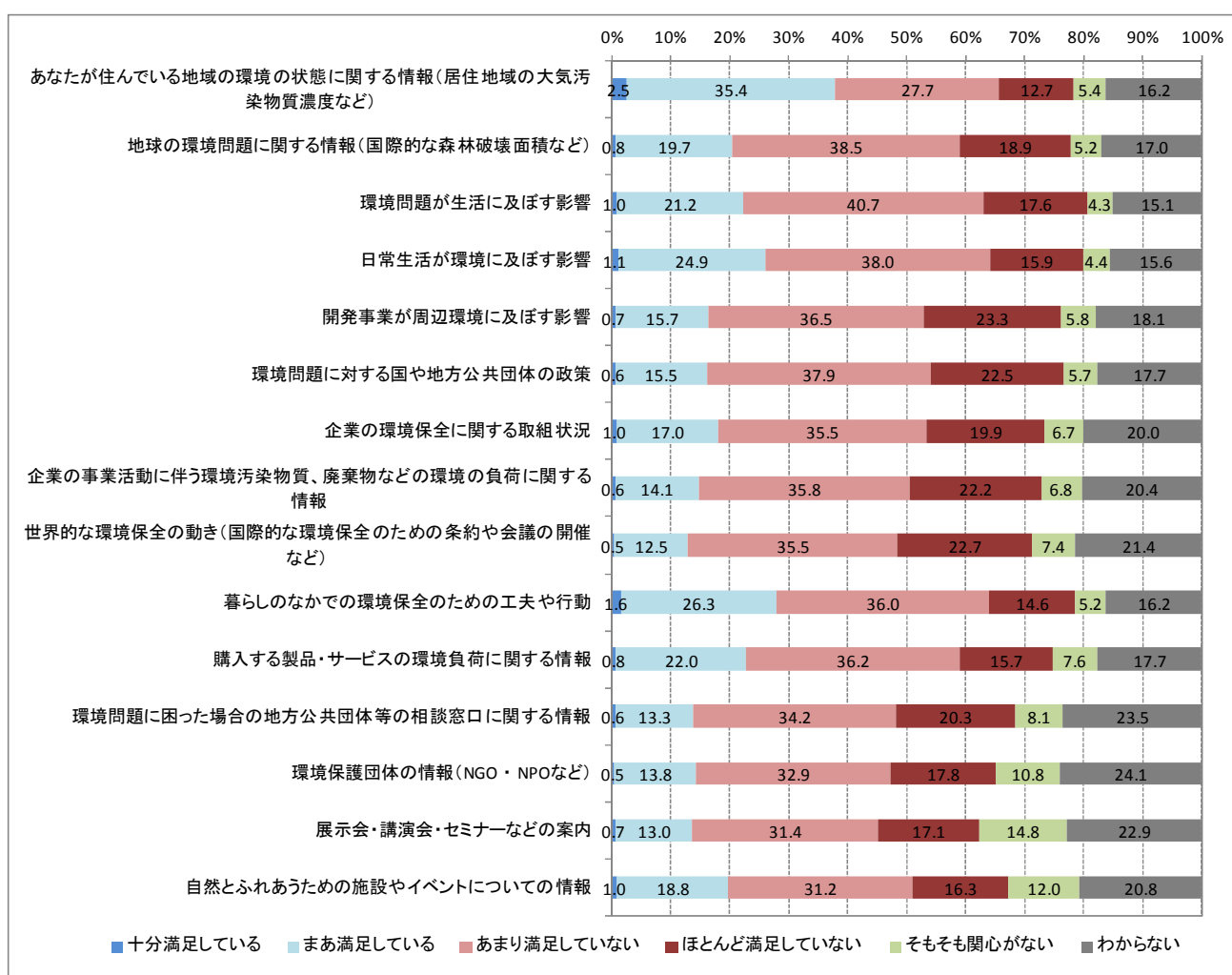


図 53 環境問題に関する情報への満足度 (情報別)

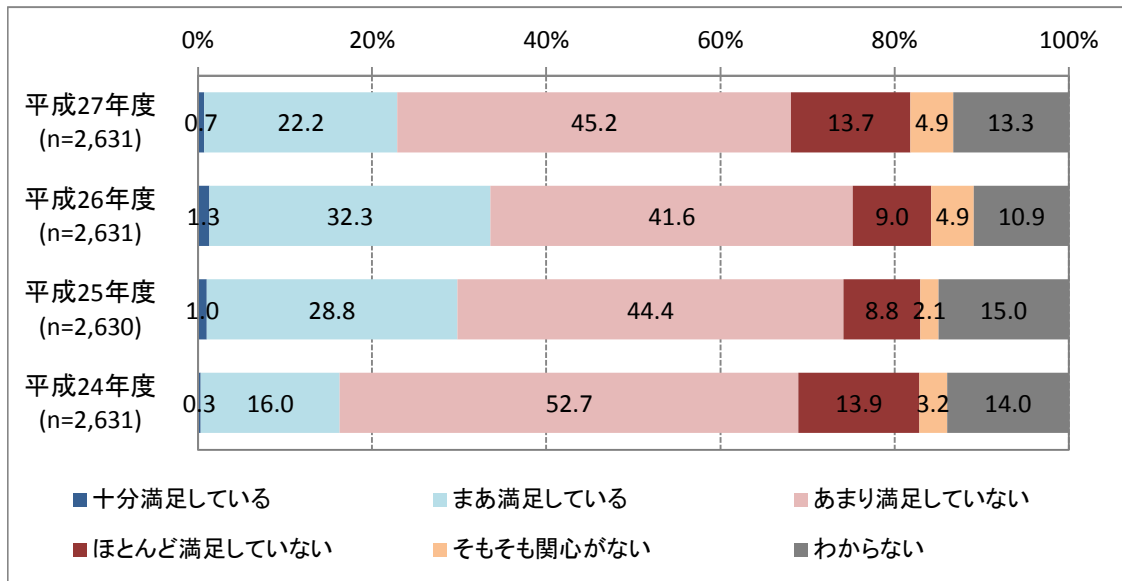


図 54 環境問題に関する情報への満足度（総合、時系列）

※「そもそも関心がない」は平成24年度では「そもそも満足していない」となる。

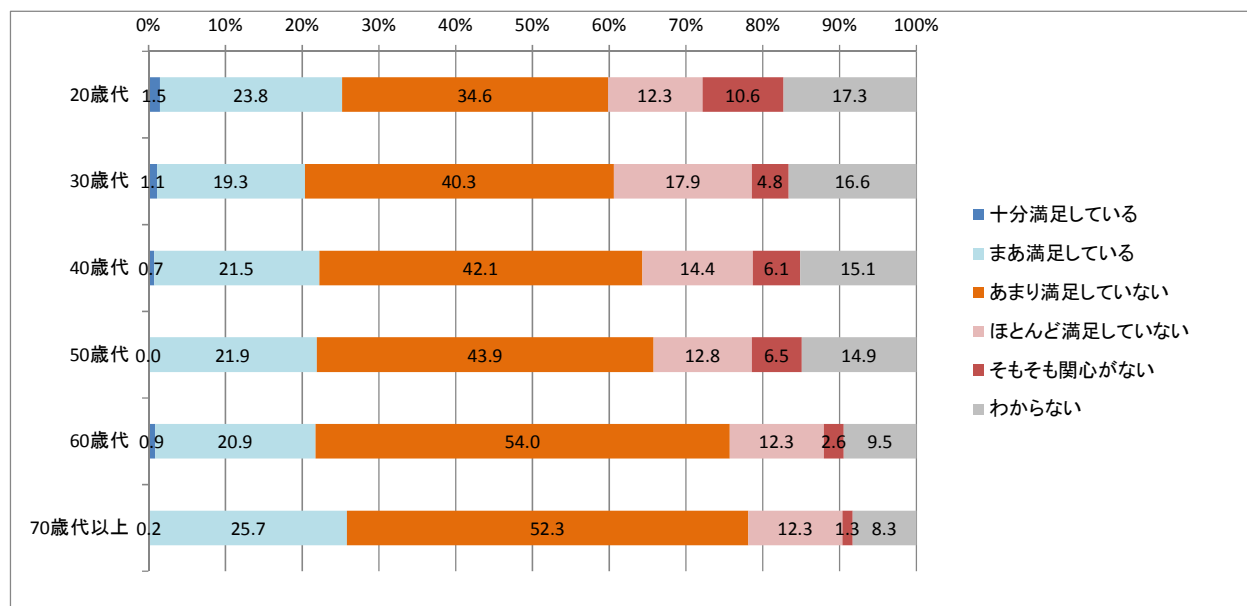


図 55 環境問題に関する情報への満足度（総合、年代別）

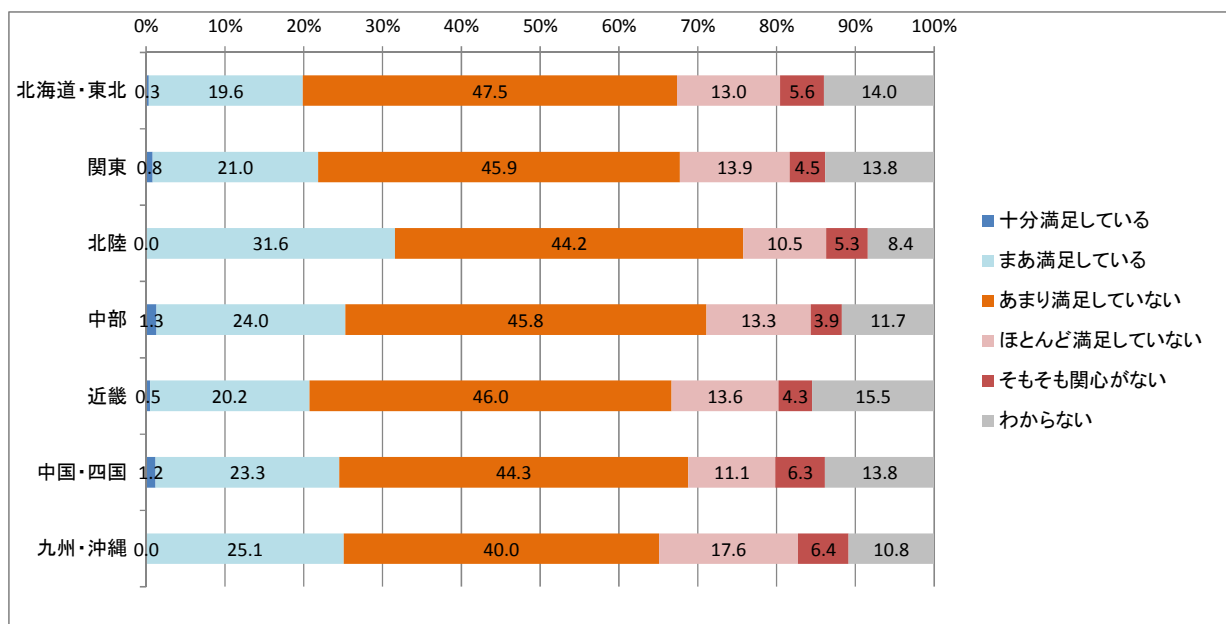


図 56 環境問題に関する情報への満足度（総合、地域別）

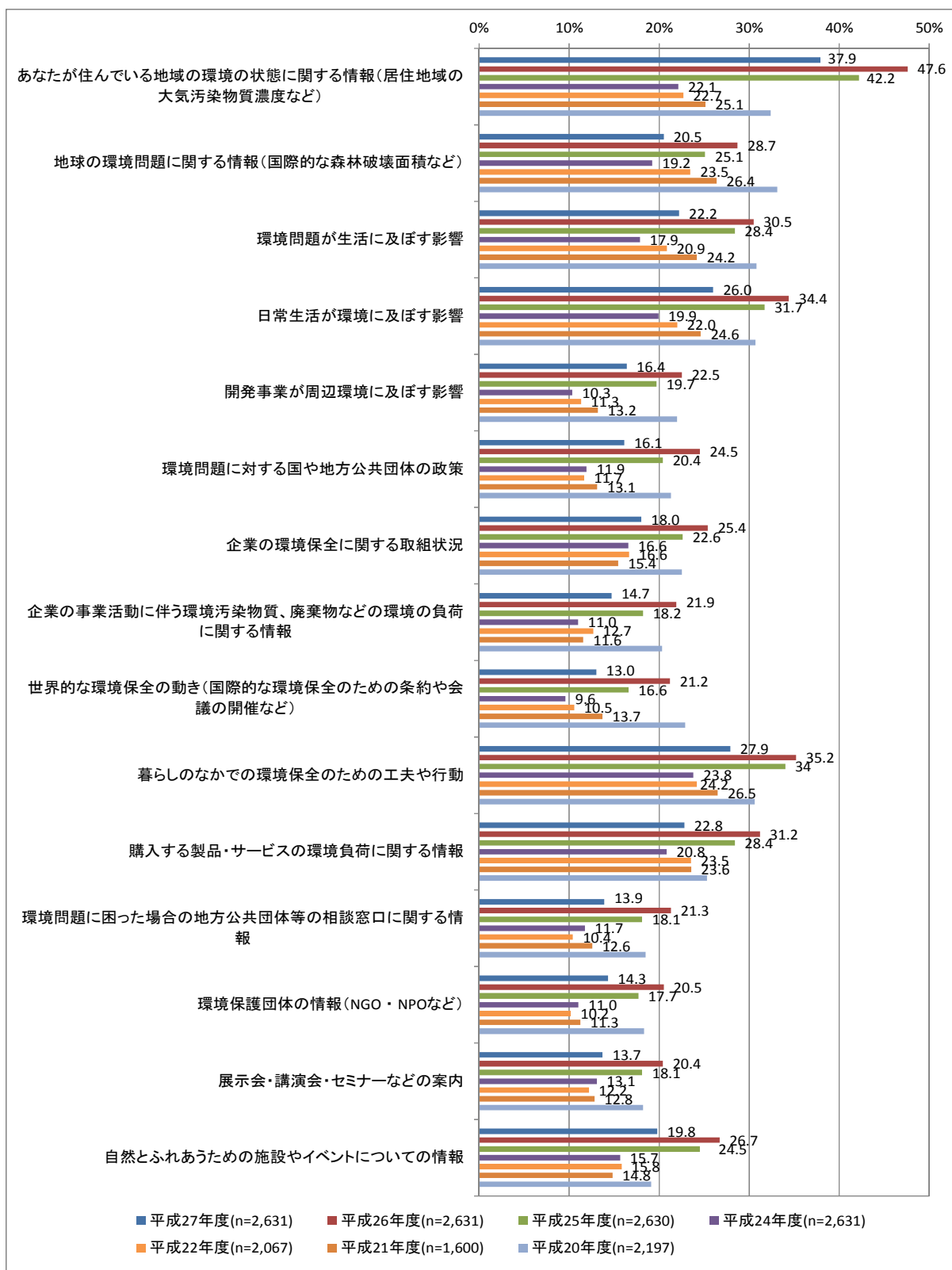


図 57 環境問題に関する情報へ満足している割合（情報別、時系列）

※「十分満足」＋「まあ満足」の割合

※今年度より選択肢に括弧書きで説明を追記するなど、文言が多少異なる。グラフは過去からの簡略な選択肢を利用

環境問題に関する情報の取得方法は、ほとんどの項目で「テレビ」が最も多くなったが、次いで「新聞」が多くなった。「ホームページ」、「SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」、「Web上のニュース」、「メーリングリスト」を合計すると「テレビ」、「新聞」とも同程度になる項目もある。

環境問題に関する情報として満足度の高かった2項目（「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」及び「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」）について、年代別に情報の取得方法をみたところ、年代による差がみられた。

「あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報」については、50歳代までは「テレビ」の割合が最も高くなった。60歳代以上では、情報を得ている場合「新聞」の割合が最も高く、70歳代以上では3割を超えた。一方、20歳代では「新聞」の割合は1割未満となった。

「暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動」について、情報を得ている場合は全ての世代で「テレビ」の割合が最も高くなった。

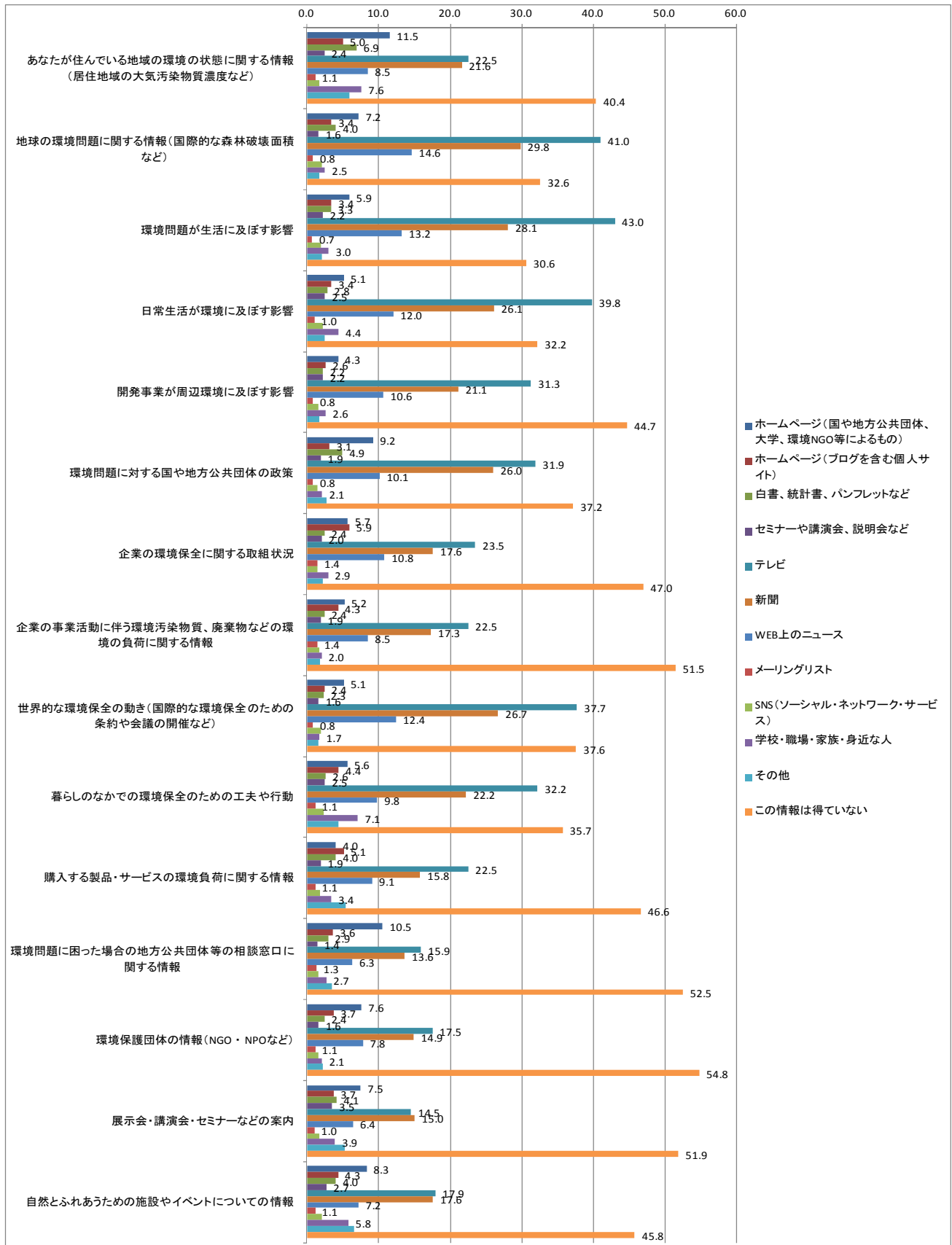


図 58 環境問題に関する情報の取得方法

【あなたが住んでいる地域の環境の状態に関する情報（居住地の大気汚染物質濃度など）】

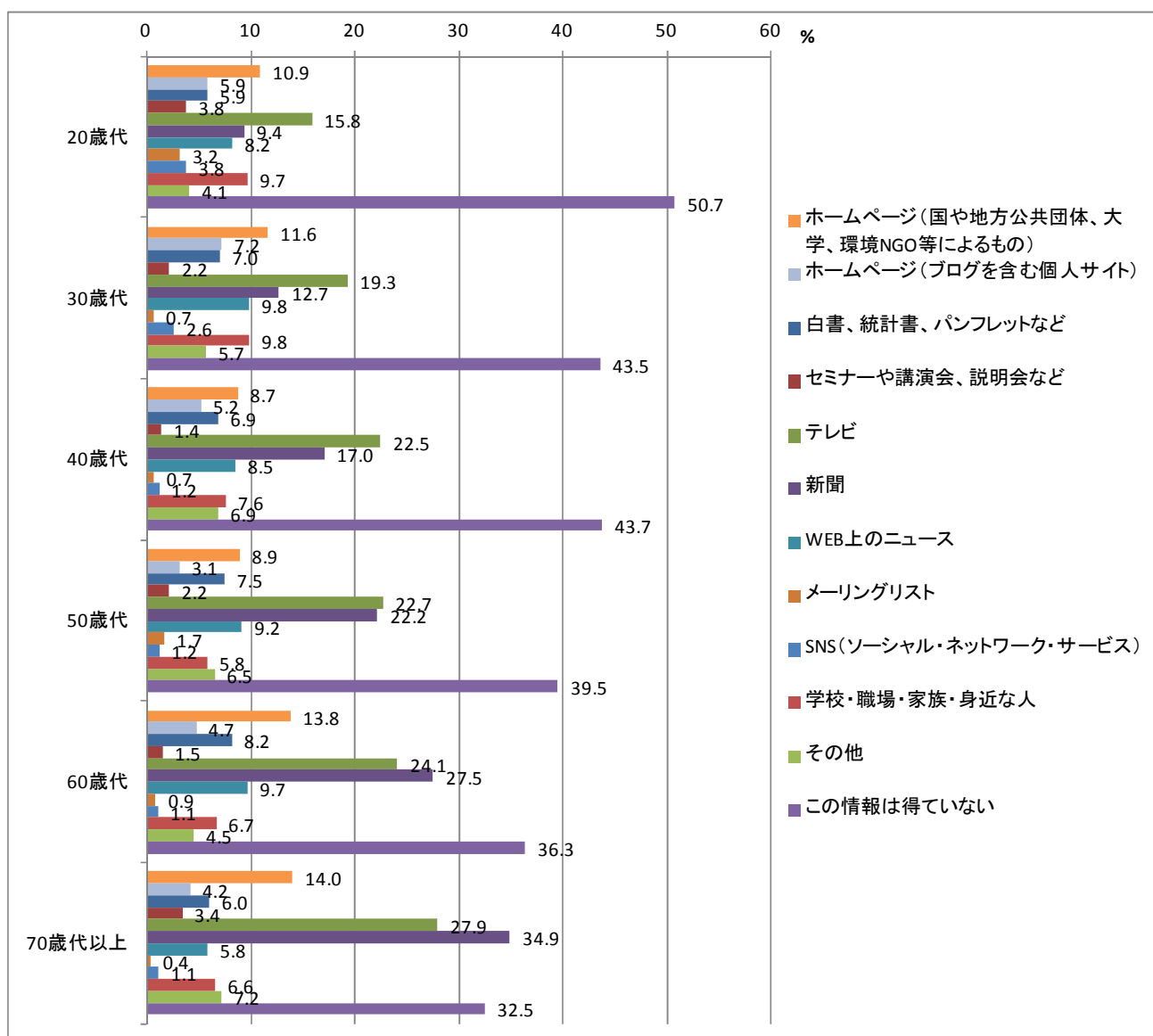


図 59 環境問題に関する情報の取得方法（年代別）

【暮らしのなかでの環境保全のための工夫や行動】

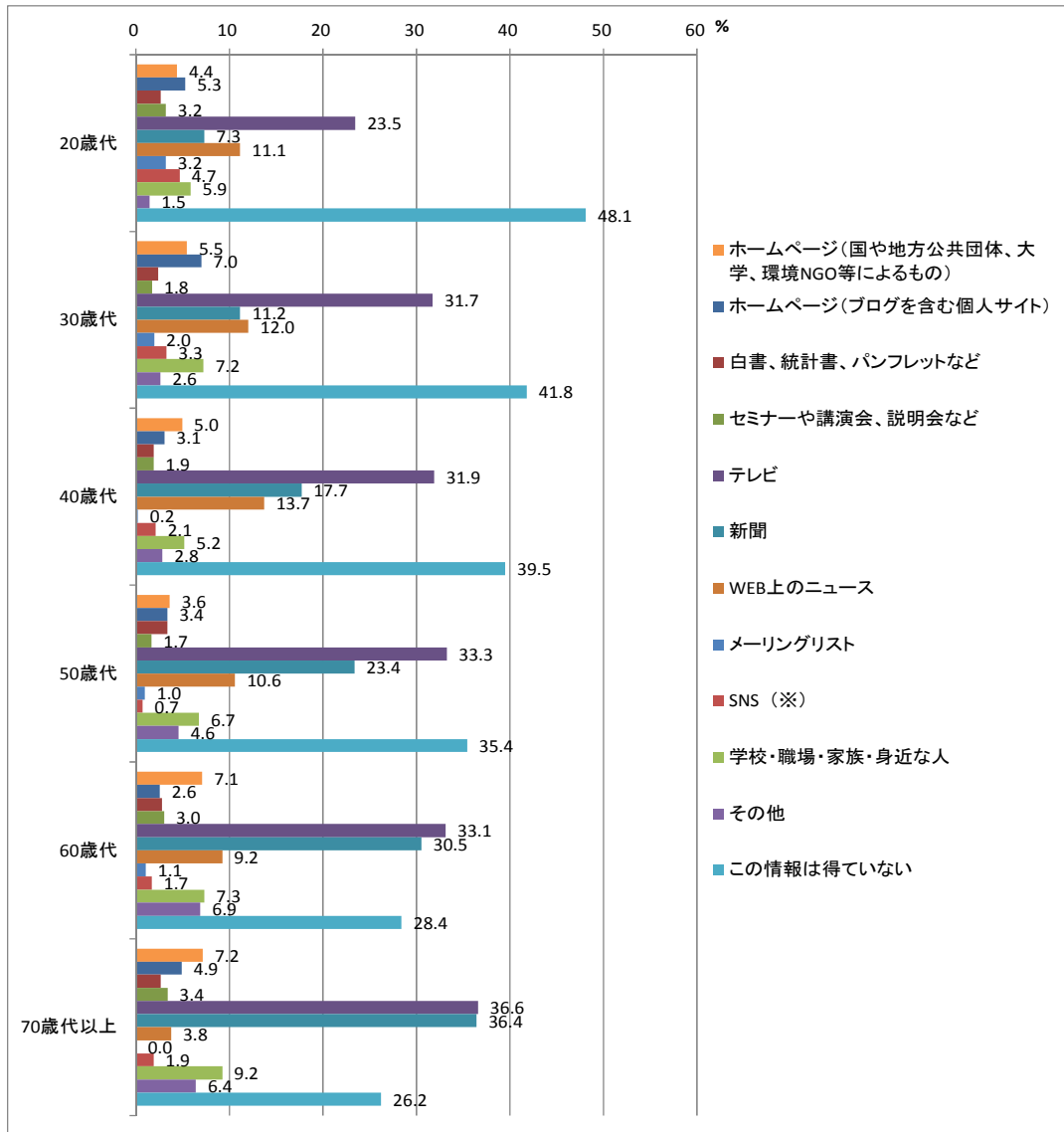


図 60 環境問題に関する情報の取得方法（年代別）

※満足度の高かった上位 2 項目について

1～2年前と比べて、環境情報に関する興味が増しているかどうかを聞いたところ、以前よりも興味がある人の割合（「以前よりもとても興味がある」＋「以前よりも少し興味がある」の割合）は、昨年度 37.2%であったが、今年度は 37.9%でわずかに増えた。また、年代別では高い年齢層で「以前よりも興味がある」人の割合が多い傾向にあることがわかる。地域別では大きな差異はみられないが、九州・沖縄で「以前よりも興味がある」人の割合がやや多い傾向にあることがわかる。

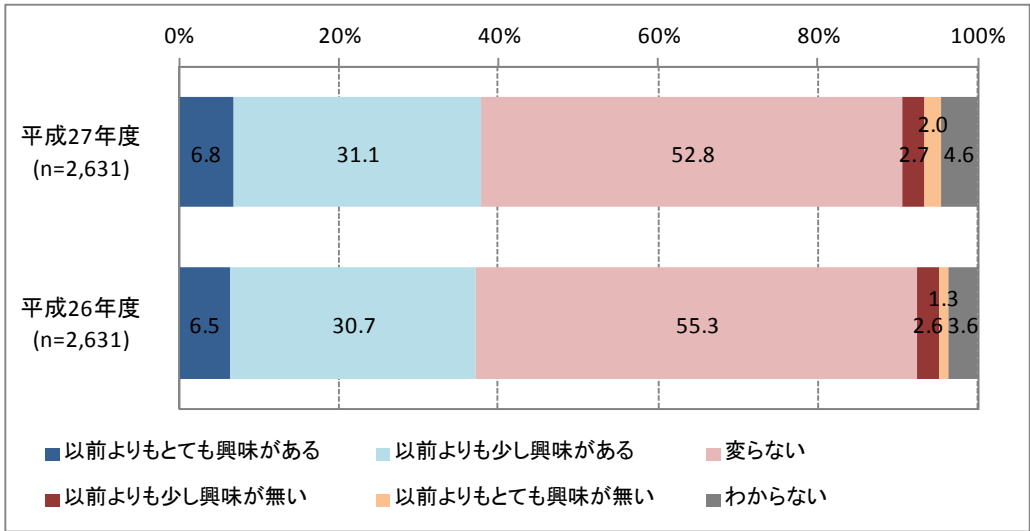


図 61 環境情報に関する興味

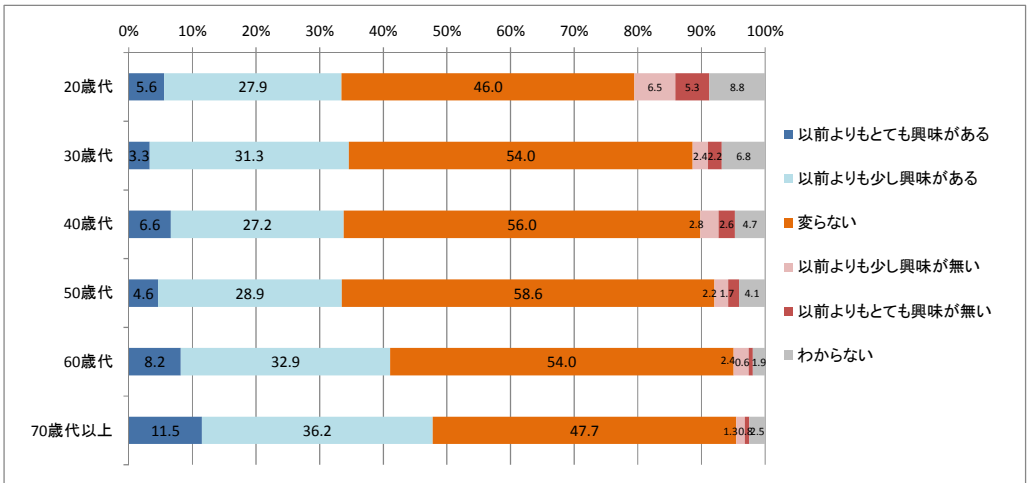


図 62 環境情報に関する興味（年代別）



図 63 環境情報に関する興味（地域別）

1～2年前と比べて、環境情報全般に関する量や質についての満足感に変化があったかどうかを聞いたところ、「満足度が上がった」（「以前よりとても満足度が上がった」＋「以前よりも少し満足度が上がった」）は、昨年度は15.0%であったが、今年度は13.2%と低くなった。年代別では70歳代以上が「満足度が上がった」の割合が17.7%と他の年代に比べやや高くなった。地域別では中部を除いては10%以上が「満足度が上がった」となっている。

「満足度が上がった」とした人に、環境情報全般に関する量や質についての満足感に変化があった理由を聞いたところ、「以前よりも情報の質がよくなったと感じるから」は、昨年度は41.8%で最も多かったが、今年度は39.1%と低くなった。一方、「以前よりも情報の量が増えたと感じるから」は昨年度37.0%であったが、今年度は40.6%に増加し最も多くなった。年代別では20歳代の「以前よりも情報の量が増えたと感じるから」との回答が52.9%と最も多くなった。地域別では北陸の「以前よりも情報の質がよくなったと感じるから」54.5%と最も多くなった。

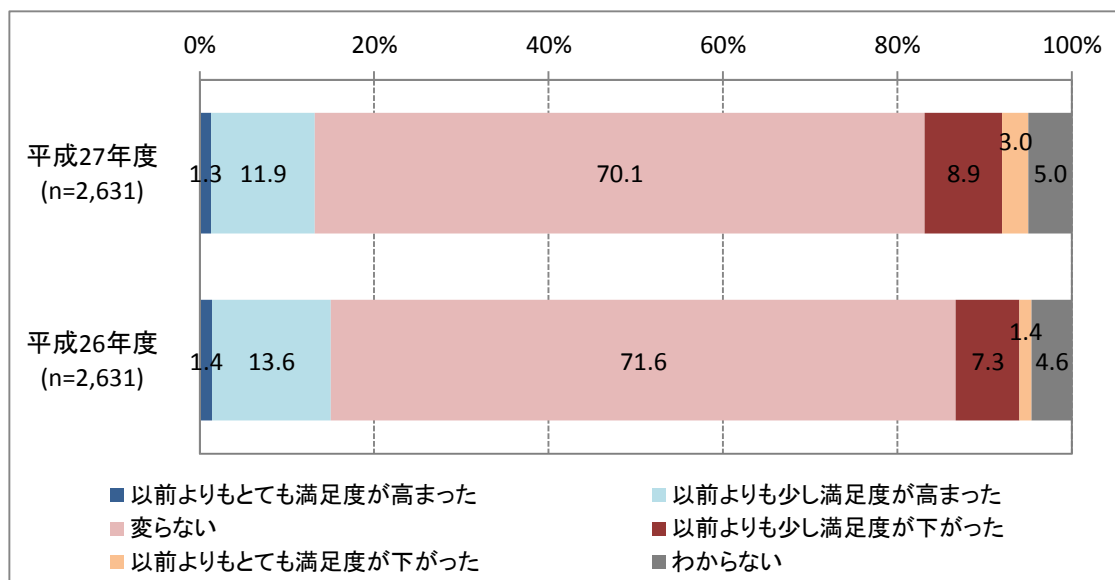


図 64 環境情報に関する満足度の変化

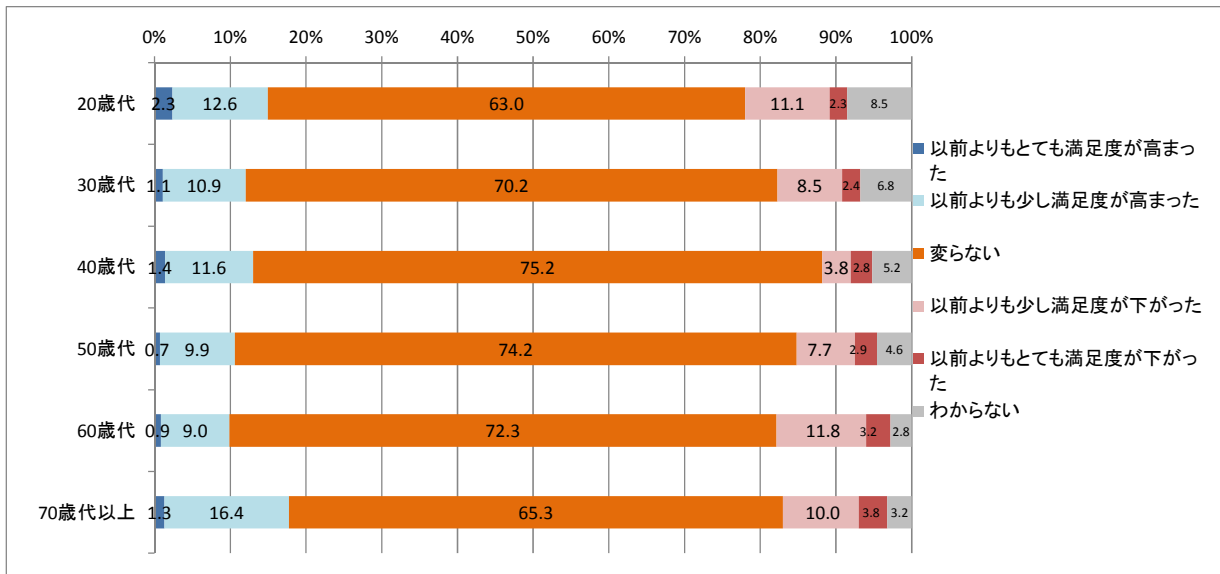


図 65 環境情報に関する満足度の変化（年代別）

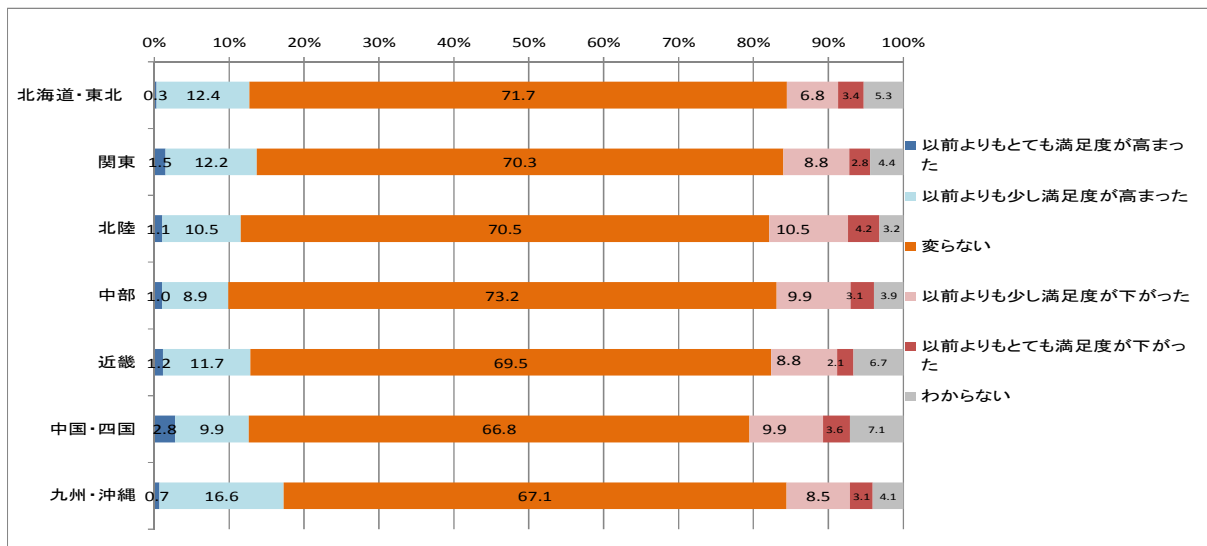


図 66 環境情報に関する満足度の変化（地域別）

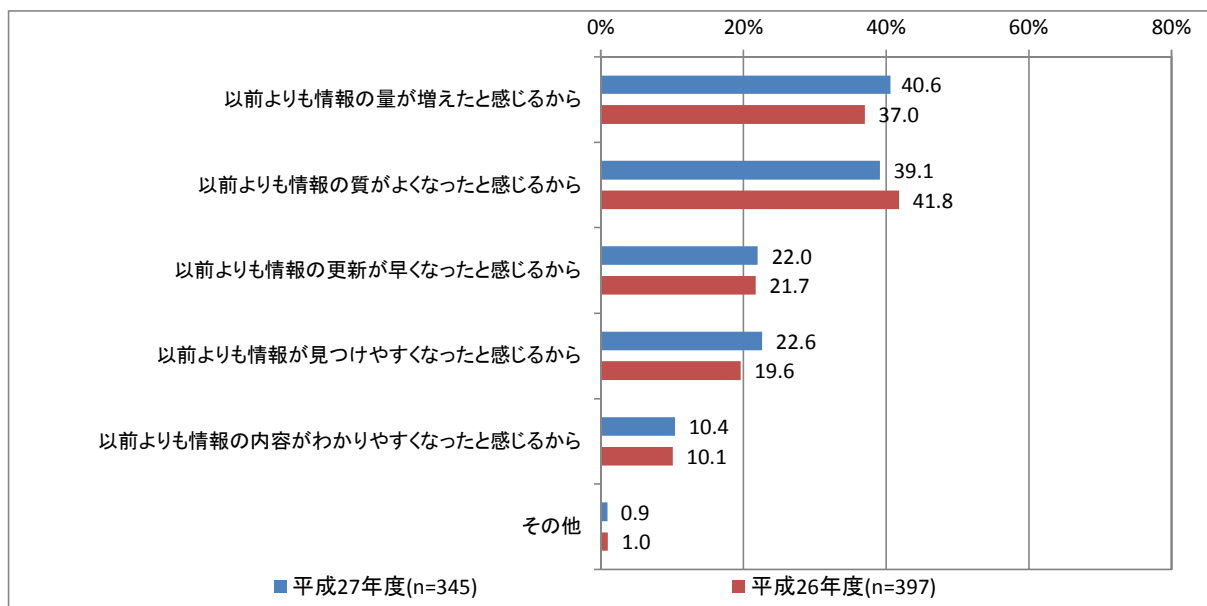


図 67 環境情報に関する満足度の変化の理由

※前問で「以前よりもとても満足度が高まった」または「以前よりも少し満足度が高まった」と回答した人を対象としたもの

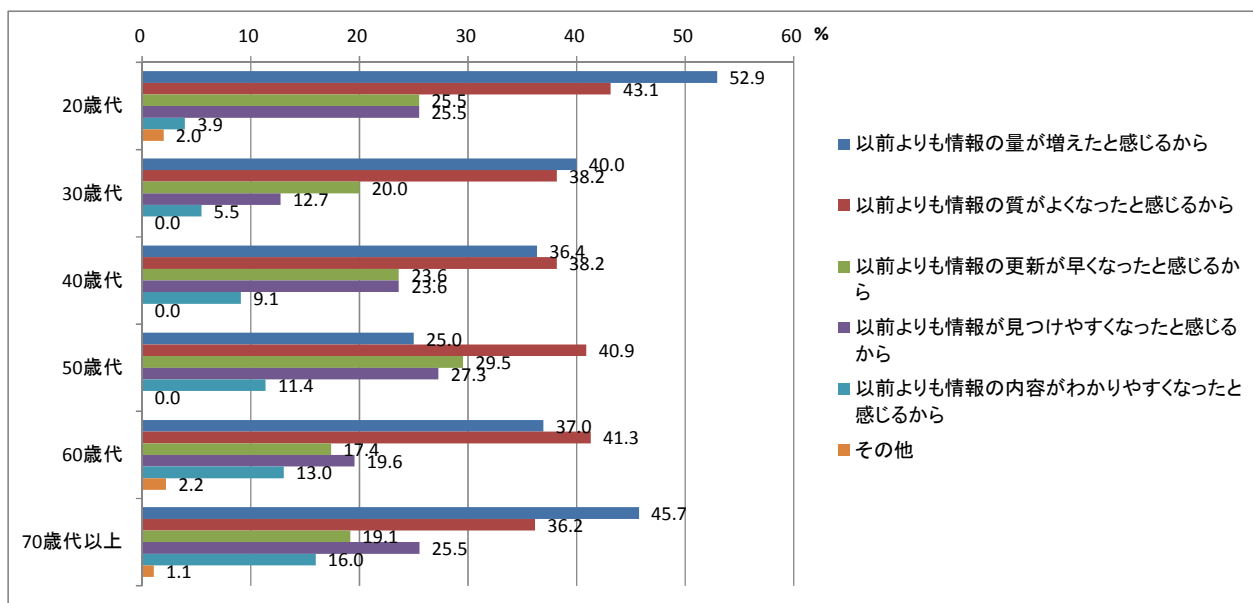


図 68 環境情報に関する満足度の変化の理由（年代別）

※前問で「以前よりもとても満足度が高まった」または「以前よりも少し満足度が高まった」と回答した人を対象としたもの

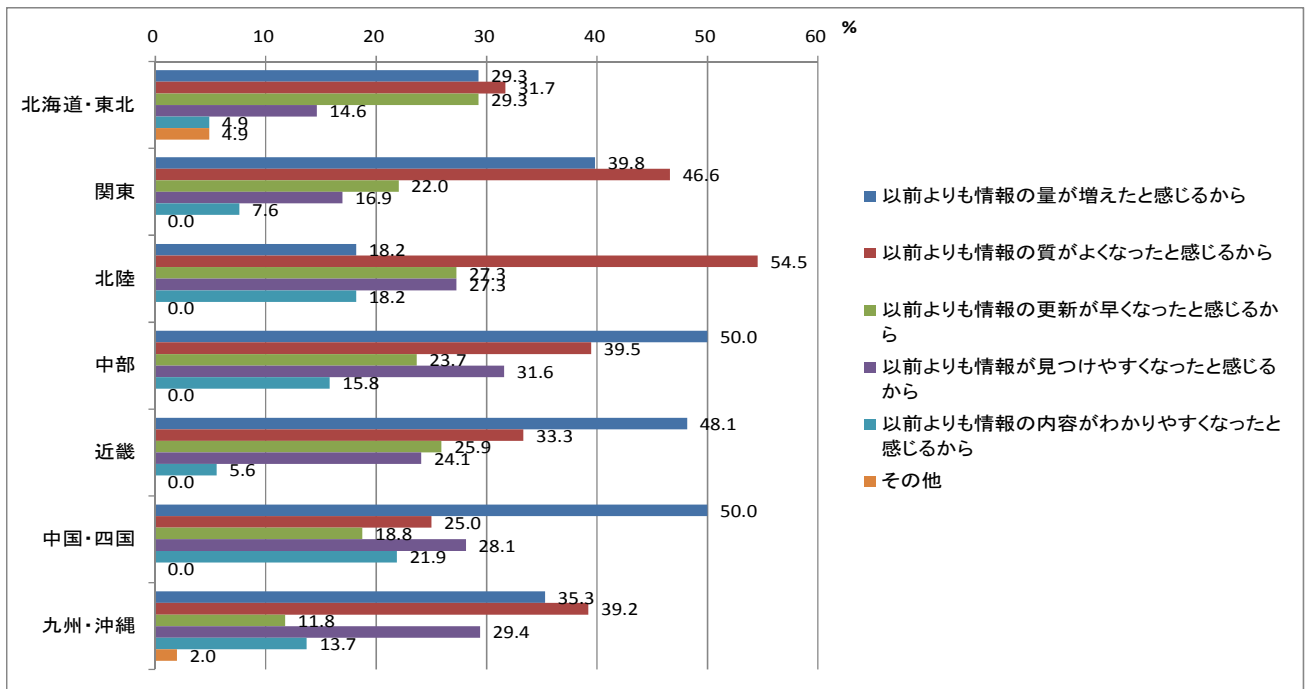


図 69 環境情報に関する満足度の変化の理由（地域別）

※前問で「以前よりもとても満足度が高まった」または「以前よりも少し満足度が高まった」と回答した人を対象としたもの